

・どんぐり工房	瑞浪市陶町水上 669 番地の 1 〒509-6362	☎0572-62-1230 Fax0572-62-1231 (Eメール) ichii-06@ob3.aitai.ne.jp
・第2どんぐり工房	瑞浪市寺河戸町 1087 番地の 1 〒509-6121	☎0572-56-1130 Fax0572-56-1131 (Eメール) donnguri@iaa.itkeeper.ne.jp
・わごうホーム	瑞浪市薬師町 2 丁目 34 番地の 1 〒509-6135	☎・Fax 0572-67-5571 (Eメール) wagou2018@ob.aitai.ne.jp
・学園台ホーム	瑞浪市学園台 2 丁目 13 番地の 6 〒509-6106	☎・Fax 0572-51-2809

どんぐり工房だより 新年号

新年、明けましておめでとうございます。昨年も新型コロナウイルスにより、私たちの健康を脅かし今なお終息のめども立たず、皆さまにおかれましては不安な毎日をお過ごしかと思えます。どんぐり工房としても、感染予防のために毎日の体温チェックや病状確認、手指消毒などで通所利用者の方にご不自由を掛ける事もあると思えますがおかげさまで、新型コロナウイルスに感染する方もおらず、今年も無事新年を迎えることができました。

さて、年の瀬に自分のロッカーを整理していた時、ふと一つのファイルが出てきました。それはいままで、私が取得してきた資格と当時の資格取得のための書類等、参考文献だったのですが、順番にページをめくっていくと、糸賀一雄先生の「この子らを世の光に」という言葉が目飛び込んできました。この言葉は障がい福祉の大きな思想であり、多くの人に影響を与えた言葉です。このような先人の言葉や、支援の考え方等、私の基礎になっている事が多くありますが、実はNPO 法人ワークセンターいちいの法人の名称にも同じように込められた思いがあるのはご存じでしょうか。「いちい」の言葉は「一意専心」という4文字熟語から来たものです。意味を調べると、「他に心を動かされずひたすら一つのことに心を集中する事」とあります。また、「ワークセンターいちい」として意味を考えると、一つのことに集中して仕事が出来るようになってほしいという願いが込められているように思います。

どんぐり工房は、就労継続B型はもちろん、生活介護でも作業を中心とした生活を行っています。作業を行うことで成長する利用者、社会に出る事(就職)で「自律」する利用者、その姿を一番近くで見えてきました。これからも一人一人の願いや思いを聞きながら、「いちい」な姿を応援していきたいと思えます。



サービス管理責任者 加藤 智大



クリスマス会



12月20日、
 クリスマス会を行いました。
 今年はみんなで仮装と
 お菓子すくいを楽しみました。
 お玉を上手に使って1回で大量にお菓子を取れた方もいれば、ちょっと難しそうにしながらも欲しいお菓子を取れた方もいて、とても盛り上がっていました！
 みんなサンタさんの衣装似合っていますね♪



クリスマス会



Merry Christmas 



同じく12月20日、第2どんぐり工房でのクリスマス会の様子です。
利用者さんと一緒に作ったトナカイとサンタの絵を使っ
て的当てゲームを行いました。
かわいい仮装もして皆さんとても盛り上が
っていました！
デザートクリスマスケーキも美味しかったです
ですね♪



もちつき



12月28日、冬期休暇の前日は毎年恒例の大掃除ともちつきを行いました。施設長さんが炊いたもち米を、杵と臼を使っておもちができるまで頑張りました。もち米を炊いている時から良い匂いがして利用者さんが集まっており、おもちをつく感触が楽しいのか、ひとりで何回もついてくれる利用者さんもいました☆持ち帰ったおもちが美味しかったですでしょうか？



新年会



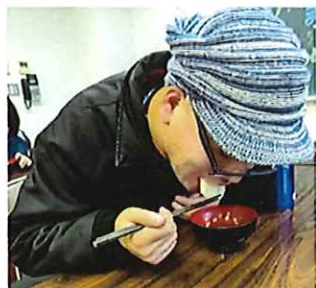
新年明けて1月5日に新年会、
1月11日に鏡開きがありました。
新年会では給食で自然薯のとろろ
ごはんを皆で食べ、鏡開きではお
やつのお汁粉を食べました。

特別な給食がある日と、おやつが
ある日は皆さん楽しみにされてい
ます♪

新年会にて保護者さまからお漬物
の差し入れを頂きました。とても
美味しかったです!ありがとうございました。



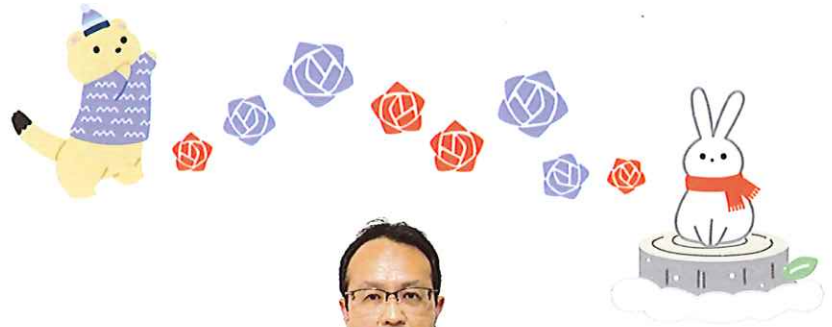
鏡開き





1月31日、節分バイキングの後に豆まきを行いました。鬼役の支援員が作業室や体育館を回って、利用者さんに鬼退治してもらいました。「鬼は外〜!」という元気な皆さんの声が聞こえた1日でした。

職員紹介



職業指導員 中村日の出

4月より働かせて頂いています中村と申します。
こちらでの仕事は初めてです。
分からないことばかりで、昨年中はみなさんに随分助けて頂きました。
明るい利用者様にも励まされここまで来れました。まだまだ力不足ですが少しでも多く力になれるよう努力していきたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。



生活支援員 石田祐一

昨年8月に入職しました石田祐一です。
福祉の仕事に就くのは今回が初めてで色々と戸惑いもありますが、先輩支援員にアドバイスをいただき、利用者さんが日々笑顔で楽しく過ごせるように、寄り添い支援をさせて頂きたいと思います。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年は雪が降る日も多く、とても寒い冬になっていますね。どんぐり工房がある陶町は毎年雪や凍結はありますが、久しぶりに雪かきをした気がします。

1週間の冬期休暇がありましたが、皆さんどうお過ごしでしたか？ゆっくり過ごして休み明けが眠そうだったりだるそうだったりした方も見えましたが、多くの方が休み明けも元気にどんぐりに通所して下さいました。元気な利用者さんを見ると「今年も一緒に頑張ろう」とパワーがもらえました。2022年も利用者さんと一緒に頑張っていこうと思います！今年もよろしくお願いいたします。

生活支援員 佐藤礼佳